



秋冬野菜の病害虫防除について

秋冬野菜はアブラナ科の野菜が多く、共通の害虫による被害があります。早期に発見し早く防除することで害虫による被害を減らすことができます。

【ハイマダラノメイガ】



特徴

苗や定植直後に発生すると、生長点付近を食害され、被害が大きい。

対策

糸でつづられた葉を見つけたら中の幼虫を捕まえる。

【コナガ】



特徴

薄皮を残すように葉を食害。1年に何世代も繰り返して発生する。

対策

葉の上の幼虫を見つけ次第捕まえる。

【ダイコンサルハムシ】



特徴

見た目は黒色で成虫の体長は約4ミリ程度。葉を葉脈を残して食害する。

対策

光るものを嫌うので、銀色のマルチや銀色のテープを張る。

【カブラハバチ】



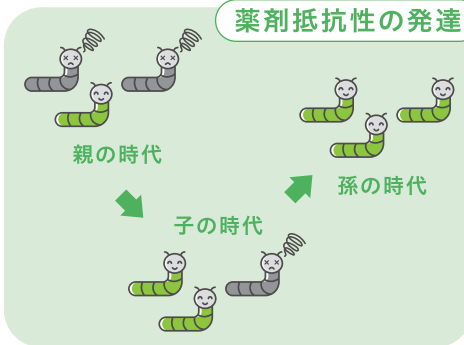
特徴

アブラナ科野菜の葉を縁から食害する。人が近づくと丸まって落ちる。

対策

ナズナやイヌガラシなどの雑草が発生源になるので畑の周りの雑草を刈る。

薬剤抵抗性の発達



● 農薬のグループ分けは裏面の「成分名」で確認できます。
● 同じ殺虫剤で防除を続けると抵抗性がつくため、グループの異なる農薬を散布することで、長く効果を出すことができます。

農薬のローテーション散布

● 農薬は有効成分の構造や作用機構から、グループ分けがあります(例:カーバメート・ジアミド・ネオニコチノイド等)。
● 農薬のグループ分けは裏面の「成分名」で確認できます。

ネットトンネル栽培

● 害虫対策にネットトンネル栽培をする場合は防虫ネットがおすすめです。
● 防虫ネットは害虫対策に光を反射する銀糸を織り込んだものが多く、害虫防除に効果的です。

● 目合いが細かいほど防ぐことのできる害虫の種類は増えますが、細くなるほど通気性が悪くなります(温度が上昇し、作物の生育に影響を及ぼします)。

● 害虫に合わせた目合いのネットを使いましょう。

目合い	防除したい害虫
2~4mm	ハイマダラノメイガ・ヨトウガ(成虫)
1.0mm	アオムシ・カブラハバチ・コナガ・ヨトウムシ(幼虫)
0.8mm	アブラムシ・キスジノミハムシ
0.6mm	ハモグリバエ
0.5mm	アザミウマ
0.4mm	コナジラミ

土の

健康診断を

やってみませんか！

ＪＡ大阪北部では12月に土壌分析を行います。土の栄養状態を数値で確認することにより、土壌に応じた施肥を行うことができます！

対象者 組合員

(お一人様3圃場まで)

◆対象土壌 耕作農地全般

◆分析費用 無料

◆申込締切 令和6年11月15日(金)

◆申込受付 支店購買店舗 及び

営農経済センター



詳しくは支店購買店舗及び営農経済センターへお問い合わせください。